

## 災害に係る住家の被害認定基準調査票

### 【構成】(赤字は新規作成したもの)

- 地震木造・プレハブ第1次A
- 地震木造・プレハブ第1次B
- 地震木造・プレハブ第2次
- 地震非木造第1次
- 地震非木造第2次
- 水害木造・プレハブ第1次
- 水害木造・プレハブ第2次
- 水害非木造
- 東日本大震災級の災害における水害 サンプル調査
- 風害木造・プレハブ
- 風害非木造
- 補遺:地盤の液状化等により損傷した住家の被害認定第1次
- 補遺:地盤の液状化等により損傷した住家の被害認定第2次
- 東日本大震災級の災害における地震木造・プレハブ第1次B

### 【変更点】

#### 運用指針に則した改定

- ・木造・プレハブにおける屋根および柱(又は耐力壁)の部位別構成比を変更
- 水害木造・プレハブ第1次
  - ・平成23年3月31日事務連絡に記載の調査票に、適用条件を追加。また、基準を引き下げてはいけなことから「概ね」を削除し、1次調査として位置づけ
- 東日本大震災級の災害における水害 サンプル調査
- 補遺:地盤の液状化等により損傷した住家の被害認定(第1次、第2次)
- 東日本大震災級の災害における地震木造・プレハブ第1次B
  - ・新規作成
- 地震木造・プレハブ第2次、地震非木造第2次、水害、風害
  - ・部位別の損害割合算出表における部位の順序を、「補遺:地盤の液状化等により損傷した住家の被害認定第2次」に併せて入れ替え
- 共通
  - ・傾きの測定については、下げ振りが120cmの場合の数値であることを明記

<b>住家被害認定調査票</b> 地震 木造・プレハブ 第1次A		調査票 番号	■判定した住家の範囲が分かるように記載	
調査日	平成	年	月	日
1 調査時	:	~	:	
調査員				
所在地				
世帯主				
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)			

4 応急危険 度判定	危険 要注意 調査済 不明	■応急危険度判定に記載されているコメントを転記
---------------	------------------------	-------------------------

5 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊しており、かつ破壊している基礎直下の地盤が液状化等した後、基礎の直下の地盤が流出、陥没等している場合	いずれかに 該当	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
------	--	-------------	--------------------------------------

6 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	<下げ振り120cmの 場合であることを追記> 120cm以上 (下げ振り120cm の場合)	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
	水平 距離 (cm)							

7 躯体	<input type="checkbox"/> 基礎の損傷率が75%以上である (損傷長/全長×100)	損傷率 75%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
------	--	--------------	--------------------------------------

8 基礎	損傷率	0%	~10%	~20%	~40%	~60%	~74%
	損害 割合	0	1	2	4	6	7

9 壁	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%
	無被害	0	0	0	0	0	0
	程度Ⅰ	1	2	3	5	6	8
	程度Ⅱ	2	4	8	11	15	19
	程度Ⅲ	4	8	15	23	30	38
	程度Ⅳ	6	11	23	34	45	56

10 屋根	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%
	無被害	0	0	0	0	0	0
	程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2
	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4
	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8
	程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11

【損害割合算出表】 (注)「6傾斜」の平均値が2cm未満の場合「計あ」の値を、2cm以上の場合「計あ」又は「計い」のうち大きい値を住家の損害割合とする。

傾斜 無	8基礎	+9壁	+10屋根	= 計あ	傾斜 有	6傾斜	+10屋根	= 計い
						1 5		
判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上			
		<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊			

<b>住家被害認定調査票</b> <b>地震</b> <b>木造・プレハブ</b> <b>第1次B</b>		調査票番号	配置状況	■判定した住家の範囲が分かるように記載	
調査日	平成	年		月	日
1 調査時	: ~ :				
調査員					
所在地					
世帯主					
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)				

4 応急危険度判定	<input type="radio"/> 危険 <input type="radio"/> 要注意 <input type="radio"/> 調査済 <input type="radio"/> 不明	■応急危険度判定に記載されているコメントを転記
-----------	--	-------------------------

5 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊しており、かつ破壊している基礎直下の地盤が液状化等した後、基礎の直下の地盤が流出、陥没等している場合	いずれかに該当	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
------	--	---------	----------------------------------

6 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	<下げ振り120cmの場合> 6cm以上(下げ振り120cmの場合) 損傷率75%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
	水平距離(cm)							

7 躯体	<input type="checkbox"/> 基礎の損傷率が75%以上である(損傷長/全長×100)	損傷率75%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
------	--	----------	----------------------------------

8 基礎	損害割合	無被害	1	2	4	6	7
------	------	-----	---	---	---	---	---

9 壁	損害割合	無被害	8	15	30	45	75
-----	------	-----	---	----	----	----	----

10 屋根	損害割合	無被害	2	3	6	9	15
-------	------	-----	---	---	---	---	----

(備考)

【損害割合算出表】

AIに該当かつBIに該当(傾斜有を計算)

A「6傾斜」の平均値が2cm以上(6cm未満)である  
B「9壁」の損害割合が無被害又は8である

上記以外(傾斜無を計算)

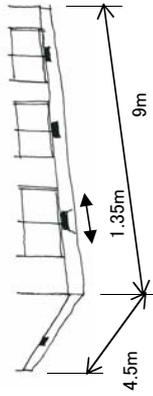
傾斜無	8基礎	+ 9壁	+ 10屋根	= 計	傾斜有	6傾斜	+ 10屋根	= 計
						1 5		

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

# 住家被害認定調査(地震:木造・プレハブ\_第1次B) 損害割合イメージ図

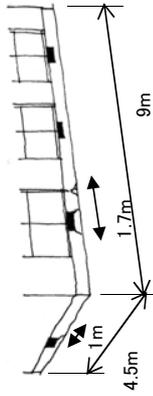
本資料では、各イメージ図において、描かれていない他の2面が、概ね同等の損傷状況である前提で、損害割合を算定している。住家の各面において損傷状況が異なる住家については、各面の面積を考慮して判定する必要がある。

## <基礎> 構成比10%



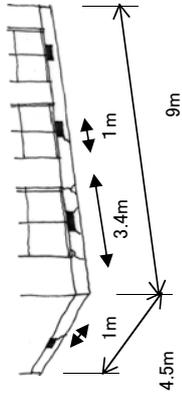
### 損害割合 1%

損傷率 =  $1.35\text{m} / 13.5\text{m} = 10\%$   
 ・ひび割れの集中(2つのひび割れの間隔は0.35m)  
 損害割合 = 損傷率 × 構成比 = 1%



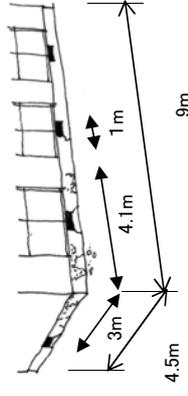
### 損害割合 2%

損傷率 =  $(1 + 1.7) \text{m} / 13.5\text{m} = 20\%$   
 ・ひび割れと、ひび割れの集中(2つのひび割れの間隔は0.7m)  
 損害割合 = 損傷率 × 構成比 = 2%



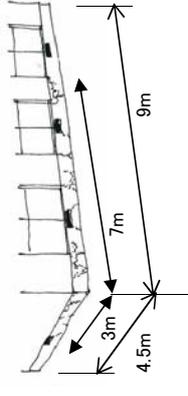
### 損害割合 4%

損傷率 =  $(1 + 3.4 + 1) \text{m} / 13.5\text{m} = 40\%$   
 ・ひび割れの集中、剥落が生じている。  
 損害割合 = 損傷率 × 構成比 = 4%



### 損害割合 6%

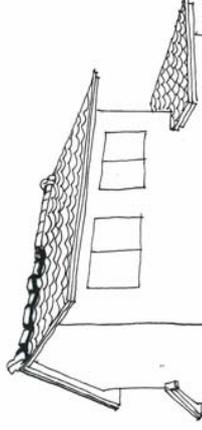
損傷率 =  $(3 + 4.1 + 1) \text{m} / 13.5\text{m} = 60\%$   
 ・ひび割れの集中、剥落が生じている。  
 損害割合 = 損傷率 × 構成比 = 6%



### 損害割合 7%

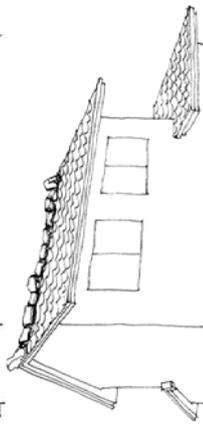
損傷率 =  $(3 + 7) \text{m} / 13.5\text{m} = 74\%$   
 ・ひび割れの集中、剥落が生じている。  
 損害割合 = 損傷率 × 構成比 = 7%

## <屋根> 構成比15%



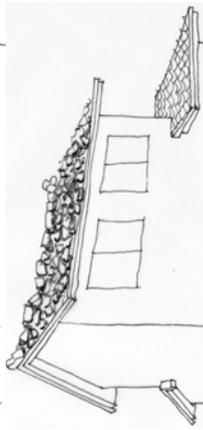
### 損害割合 2%

損傷率 =  $25\% (\text{程度II}) \times 4 / 10 = 10\%$   
 ・棟瓦のずれ、破損、落下が著しいが、その他の瓦の損傷は少ない。  
 損害割合 = 損傷率 × 構成比 = 1.5%



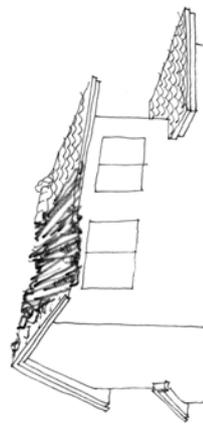
### 損害割合 3%

損傷率 =  $25\% (\text{程度II}) \times 8 / 10 = 20\%$   
 ・棟瓦のずれ、破損、落下が著しいが、その他の瓦の損傷は少ない。  
 損害割合 = 損傷率 × 構成比 = 3%



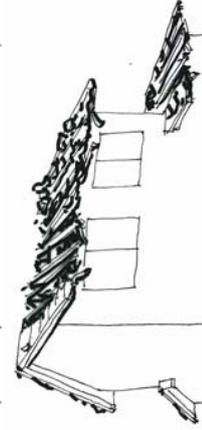
### 損害割合 6%

損傷率 =  $50\% (\text{程度III}) \times 8 / 10 = 40\%$   
 ・棟瓦が全般的にずれ、破損あるいは落下している。棟瓦以外の瓦のずれも著しい。  
 損害割合 = 損傷率 × 構成比 = 6%



### 損害割合 9%

損傷率 =  $100\% (\text{程度V}) \times 6 / 10 = 60\%$   
 ・小屋組の損傷が著しく、葺材の大部分が損傷を受けている。屋根仕上面全面にわたって不陸、亀裂、剥落が見られる。  
 損害割合 = 損傷率 × 構成比 = 9%



### 損害割合 15%

損傷率 =  $100\% (\text{程度V}) \times 10 / 10 = 100\%$   
 ・小屋組の損傷が著しく、葺材の大部分が損傷を受けている。屋根仕上面全面にわたって不陸、亀裂、剥落が見られる。  
 損害割合 = 損傷率 × 構成比 = 15%

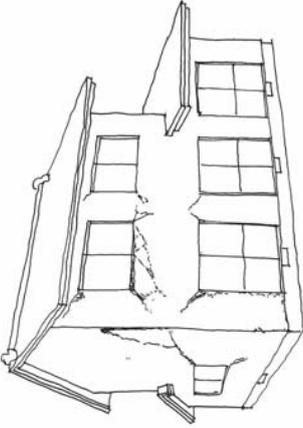
# 住家被害認定調査(地震:木造・プレハブ\_第1次B) 損害割合イメージ図

本資料では、各イメージ図において、描かれていない他の2面が、概ね同程度の損傷状況である前提で、損害割合を算出している。住家の各面において損傷状況が異なる住家については、イメージ図を参考に損害割合の判定を行う際には、各面の面積を考慮して判定する必要がある。

<壁> 構成比75%

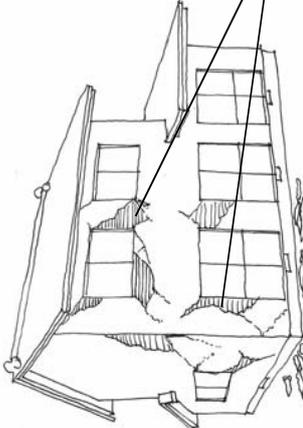
## 損害割合 8%

損傷率＝  
 $25\%(\text{程度II}) \times 8/20 = 10\%$   
 ・仕上の剥離が生じている。  
 損害割合＝損傷率×構成比＝7.5%



## 損害割合 15%

損傷率＝  
 $50\%(\text{程度III}) \times 8/20 = 20\%$   
 ・仕上材が脱落している。  
 損害割合＝損傷率×構成比＝15%



仕上材が脱落している。(程度III)

## 損害割合 30%

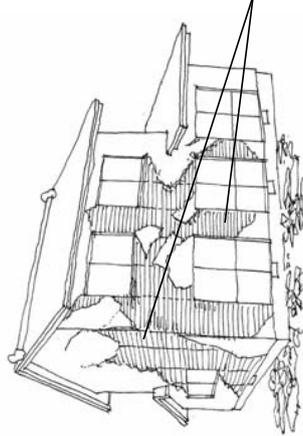
損傷率  
 $50\%(\text{程度III}) \times 4/20 = 10\%$   
 $75\%(\text{程度IV}) \times 8/20 = 30\%$   
 ・仕上材が脱落している。  
 ・仕上材が脱落しており、下地材にひび割れが生じている。  
 損害割合＝損傷率×構成比＝30%



仕上材が脱落している。(程度III)  
 下地材にひび割れが生じている。(程度IV)

## 損害割合 45%

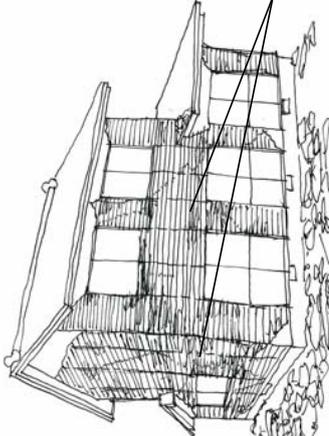
損傷率＝  
 $75\%(\text{程度IV}) \times 16/20 = 60\%$   
 ・仕上材が脱落しており、下地材にひび割れが生じている。  
 損害割合＝損傷率×構成比＝45%



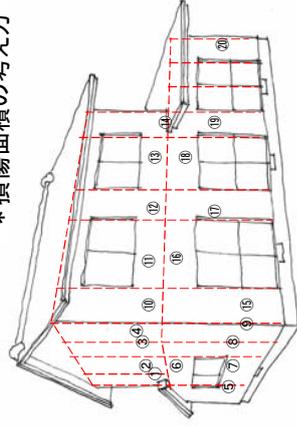
下地材にひび割れが生じている。(程度IV)

## 損害割合 75%

損傷率＝  
 $100\%(\text{程度V}) \times 20/20 = 100\%$   
 ・仕上材が脱落しており、下地材に破壊が生じている。  
 損害割合＝損傷率×構成比＝75%



\* 損傷面積の考え方



※仕上材が脱落している場合の取扱い  
 壁の仕上材が脱落している場合、下地材の損傷状況により、当該部分の損傷程度が以下のとおり異なることに留意して下さい。

損傷なし ⇒ 程度III(50%)  
 ひび割れあり ⇒ 程度IV(75%)

<b>住家被害認定調査票</b> <b>地震</b> <b>木造・プレハブ</b> <b>第2次-1</b>		調査票番号	3 外観 <input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊又は住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 地盤被害により基礎に著しい損傷	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
調査日 平成 年 月 日	1 調査時 : ~ :		4 傾斜 (cm) ① ② ③ ④	平均値  6cm以上 (下げ振り120cmの場合) <input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
調査員	2 住家 <input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)			
所在地				
世帯主				
5 基礎	損傷長 (m)	全長 (m)	損傷率 = 損傷長 / 全長 × 100	損傷率 75%以上 <input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
6 柱(又は耐力壁)	<input type="checkbox"/> 柱(又は耐力壁)の損傷率が75%以上			損傷率 75%以上 <input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)

該当しない場合は2頁「7」以降へ

【損害割合算出表】

(注)h列は、傾斜が2cm以上の場合のみ記入する。

部位	構成比	階別部位別損害割合		部位別損害割合	階別重み付け		重み付き損害割合	h ( <input type="checkbox"/> 傾斜が2cm以上)傾斜を考慮した損害割合 あ>い→d あ≤い→g
		主要階	その他階		主要階	その他階		
		B <sup>**</sup>	C <sup>**</sup>	b+c	b×1.25	c×0.5	e+f (e+f>a→a)	
9 外壁	10							
10 内壁	15							
11 床 (階段含)	10							
5 基礎	10	「5.基礎」の損傷率×0.1						
12 柱(又は耐力壁)	15			13%以上で全壊				
13 屋根	15							
14 天井	5							
15 建具	10							
16 設備	10							
計		あ					い	う
		※ B及びCは、調査票3頁のB及びCの値とする。		「あ」又は「い」(傾斜が2cm以上の場合は、「あ」、「い」又は「う」)の中で最大の値				15%

判定	損害割合			
	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
	<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊



住家被害認定 調査票	調査票 番号
	地震 木造・プレハブ

8	面積率	床	(1)	(2)	計
		屋根	(3)	(4)	1.0

		主要階							
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
9	外壁	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
10	内壁	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
11	床 (階段含)	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
12	柱 (又は耐力壁)	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
13	屋根	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(3)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
14	天井	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1	
		程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	
	5%	程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	B
		程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	
		程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5	
15	建具	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	

		その他階							
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
9	外壁	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	C
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
10	内壁	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	C
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
11	床 (階段含)	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	C
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
12	柱 (又は耐力壁)	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	C
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
13	屋根	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(4)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	C
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
14	天井	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1	
		程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	
	5%	程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	C
		程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	
		程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5	
15	建具	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	C
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	

<b>住家被害認定調査票</b> <b>地震非木造第1次</b>		調査票番号	<b>配置状況</b>	■判定した住家の範囲が分かるように記載		
調査日	平成	年			月	日
1 調査時	: ~ :					
調査員						
所在地						
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)					

4 応急危険度判定	<input type="checkbox"/> 危険 <input type="checkbox"/> 要注意 <input type="checkbox"/> 調査済 <input type="checkbox"/> 不明	■応急危険度判定に記載されているコメントを転記
-----------	---	-------------------------

5 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 又は 住家の一部の階が全部倒壊		<下げ振り120cmの場合であることを追記>	<input type="checkbox"/> 傾斜の平均値が4cm(下げ振り120cmの場合)以上 <input type="checkbox"/> 傾斜の平均値が2cm(下げ振り120cmの場合)以上かつ最大沈下量又は最大露出量30cm以上	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
6 傾斜	測定箇所	① ② ③ ④ 平均値			
	水平距離(cm)				

8 柱・梁の確認	<input type="checkbox"/> ア. 外観目視により柱又は梁を確認できる場合 9柱(又は梁)、11雑壁・仕上等、12設備等を調査	<input type="checkbox"/> イ. 外観目視により柱及び梁を確認できない場合 10外壁、12設備等を調査
----------	--	---

9 柱(又は梁) (60%)	面積・本数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	無被害	0	0	0	0	0	0	※45%以上で全壊
	I	1	1	2	4	5	6	
	II	2	3	6	9	12	15	
	III	3	6	12	18	24	30	
	IV	5	9	18	27	36	45	
	V	6	12	24	36	48	60	

10 外壁 (85%)	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	無被害	0	0	0	0	0	0	
	I	1	2	3	5	7	9	
	II	2	4	9	13	17	21	
	III	4	9	17	26	34	43	
	IV	6	13	26	38	51	64	
	V	9	17	34	51	68	85	

11 雑壁・仕上等 (25%)	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	無被害	0	0	0	0	0	0	
	I	0	1	1	2	2	3	
	II	1	1	3	4	5	6	
	III	1	3	5	8	10	13	
	IV	2	4	8	11	15	19	
	V	3	5	10	15	20	25	

12 設備等 (15%)	設備	損傷の状況	損害割合	計
	高架水槽・受水槽			
	外部階段			
	その他			

【損害割合算出表】 ア. 外観目視により柱又は梁を確認できる場合

	6 傾斜	9 柱(又は梁)	11 雑壁・仕上等	12 設備等	計
傾斜無					あ
傾斜有	20				い

イ. 外観目視により柱及び梁を確認できない場合

	6 傾斜	10 外壁	12 設備等	計
傾斜無				う
傾斜有	20			え

(注)「6傾斜」の平均値が2cm未満の場合、「あ」又は「う」を、2cm以上の場合、「あ」又は「い」若しくは「う」又は「え」のうち大きい値を損害割合とする。

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

**住家被害認定調査票**  
地震  
非木造  
第2次

調査票番号

調査日 平成 年 月 日

1 調査時 : ~ :

調査員

所在地

世帯主

2 住家  住家である(居住のために使用されている)

7 構造の確認

鉄骨造の場合  
柱(本数で判定)  
柱が見えない場合  
↓  
耐力壁(ブレース数で判定)  
耐力壁が見えない場合  
↓  
外部仕上げ(面積で判定)

鉄筋コンクリートの場合  
・ラーメン構造の場合  
柱(本数で判定)  
・壁式構造の場合  
耐力壁(面積で判定)

面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
9 無被害	0	0	0	0	0	0	計
I	0	0	0	1	1	1	
II	0	1	1	2	2	3	
III	1	1	2	3	4	5	
IV	1	2	3	5	6	8	
V	1	2	4	6	8	10	

面積・本数率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
11 無被害	0	0	0	0	0	0	計 ※38%以上で全壊
I	1	1	2	3	4	5	
II	1	3	5	8	10	13	
III	3	5	10	15	20	25	
IV	4	8	15	23	30	38	
V	5	10	20	30	40	50	

枚数率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
13 無被害	0	0	0	0	0	0	計
I	0	0	0	0	0	1	
II	0	0	1	1	1	1	
III	0	1	1	2	2	3	
IV	0	1	2	2	3	4	
V	1	1	2	3	4	5	

【損害割合算出表】	4傾斜	8外部仕上・雑壁・屋根	9内部仕上・天井	10床・梁 ※大きい方	11柱 (又は耐力壁)	12設備等 (住家外)	13建具	14設備等 (住家内)	計
傾斜無									あ
傾斜有	20								い

(注)「4傾斜」の平均値が2cm未満の場合「あ」を、2cm以上の場合「あ」又は「い」のうち大きい値を損害割合とする。

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

3 外観  住家全部が倒壊  
 住家の一部の階が全部倒壊

いずれかに該当 →

4 傾斜	①	②	③	④	平均値

<下げ振り120cmの場合であることを追記

5 傾斜確認  傾斜の平均値が4cm(下げ振り120cmの場合)以上  
 (基礎ぐいを用いる住家について) 傾斜の平均値が2cm(下げ振り120cmの場合)以上かつ最大沈下量又は最大露出量30cm以上

いずれかに該当 →

該当しない場合は、2頁「6」以降へ →

□判定へ (全壊)

面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
8 無被害	0	0	0	0	0	0	計
I	0	0	0	1	1	1	
II	0	1	1	2	2	3	
III	1	1	2	3	4	5	
IV	1	2	3	5	6	8	
V	1	2	4	6	8	10	

面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	床計
10 無被害	0	0	0	0	0	0	計 ※8%以上で全壊
I	0	0	0	1	1	1	
II	0	1	1	2	2	3	
III	1	1	2	3	4	5	
IV	1	2	3	5	6	8	
V	1	2	4	6	8	10	

設備	損傷の状況	損害割合	計
12 浴室	1% 配管のズレ等 2% バスタブの割れ等 3% 再使用が不可能		計
設備等(住家内)	1% 配管のズレ等 2% 再使用は可能だが大きく破損 3% 再使用が不可能		
その他	4%		

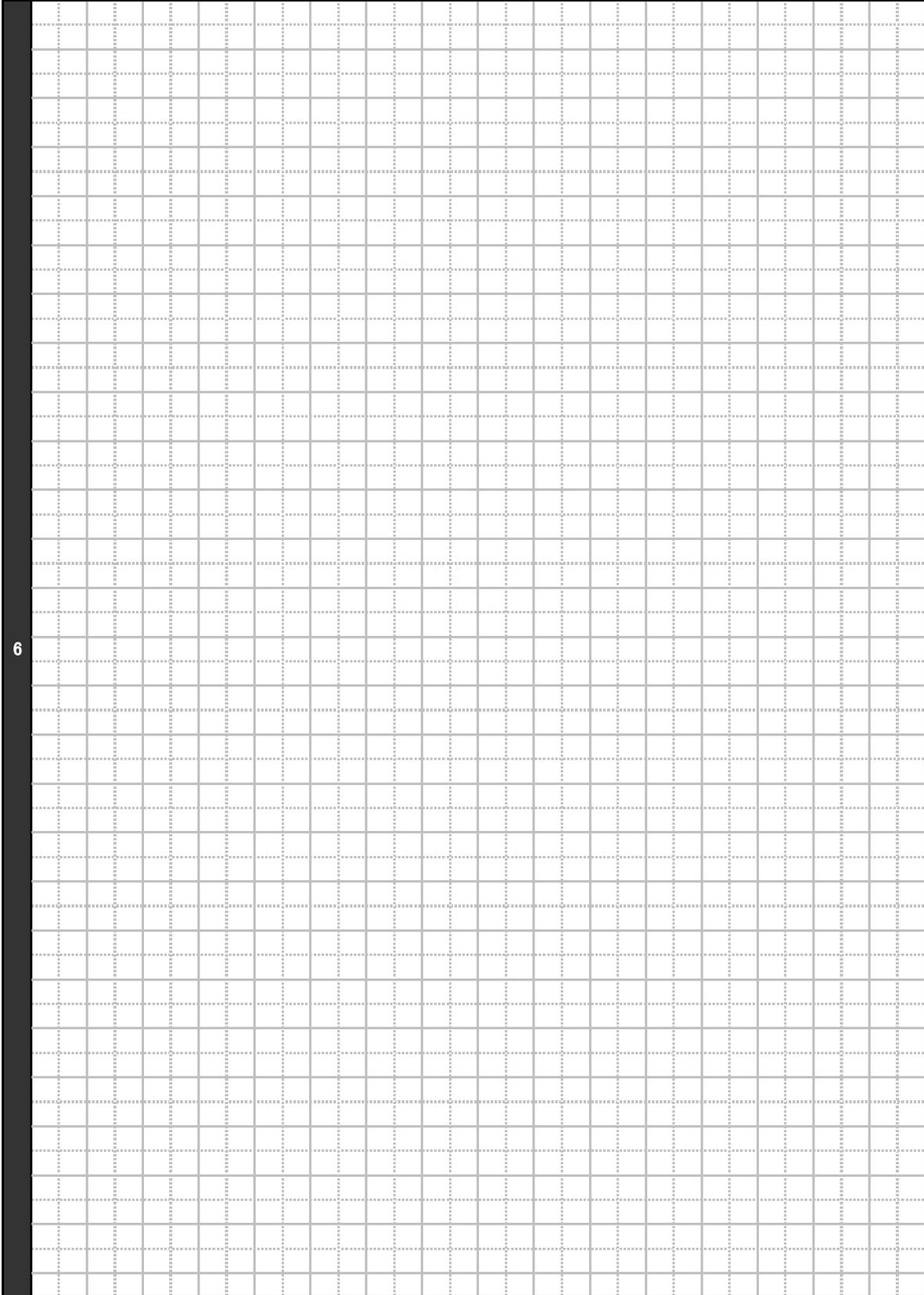
設備	損傷の状況	損害割合	計
14 設備等(住家外)	高架水槽・受水槽		計
	外部階段		
	その他		

住家被害認定  
調査票  
地震  
非木造  
第2次-2

調査票  
番号

( )階平面図

6



<b>住家被害認定調査票</b> <b>水害</b> <b>木造・プレハブ</b> <b>第1次</b>	調査票番号		3 配置状況	■判定した住家の範囲が分かるように記載
	調査日	平成 年 月 日		
	1 調査時	: ~ :		
	調査員			
	所在地			
	世帯主			

2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)	該当 → 該当しない →	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)	
3 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 又は 住家の一部の階が全部倒壊			
4 構造	<input type="checkbox"/> 木造・プレハブである		「4」～「6」す	第1次調査を行うには不 当であり、第 2次調査を行 う。
5 階高	<input type="checkbox"/> 住家が戸建ての1～2階建てである			
6 外力	<input type="checkbox"/> 住家に津波、越流、堤防決壊等水流や泥流、瓦礫等の衝突の外力による損傷がある			
7 浸水深				

	<b>住家流失</b>  <b>又は</b>  <b>1階天井まで浸水</b> <small>(浸水深の最も浅い部分で測定)</small>	住家の損害割合 <b>50%以上</b>	<b>全壊</b>	<input type="checkbox"/>
	<b>床上1mまで浸水</b> <small>(浸水深の最も浅い部分で測定)</small>	住家の損害割合 <b>40%以上</b>	<b>大規模半壊</b>	<input type="checkbox"/>
	<b>床上浸水</b> <small>(浸水深の最も浅い部分で測定)</small>	住家の損害割合 <b>20%以上</b>	<b>半壊</b>	<input type="checkbox"/>
	<b>床下浸水</b> <small>(浸水深の最も浅い部分で測定)</small>	住家の損害割合 <b>20%未満</b>	<b>半壊に至らない</b>	<input type="checkbox"/>

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

<b>住家被害認定調査票</b> <b>水害</b> 木造・プレハブ 東日本大震災級の災害における サンプル調査その1		調査票 番号	<b>東日本大震災級の災害におけるサンプル調査</b>	
			<b>2 住家</b>	<input type="checkbox"/> 区域内のすべてが住家である (居住のために使用されている)
<b>1</b>	調査日	平成      年      月      日	<b>3 構造</b>	<input type="checkbox"/> 区域内のすべての住家が木造・プレハブである
	調査時	:      ~      :	<b>4 階高</b>	<input type="checkbox"/> 区域内のすべての住家が戸建ての1~2階建てである
	調査員		<b>5 外力</b>	<input type="checkbox"/> 区域内のすべての住家に津波、越流、堤防決壊等水流や泥流、瓦礫等の衝突の外力による損傷がある
	所在地			
	世帯主			

該当しない項目がある

サンプル調査を行うには不向きであり、区域を見直す又は個別に調査を行う。

「2」~「5」すべてに該当

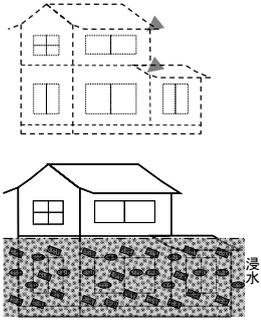
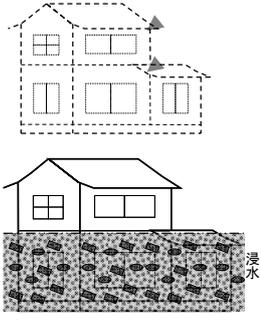
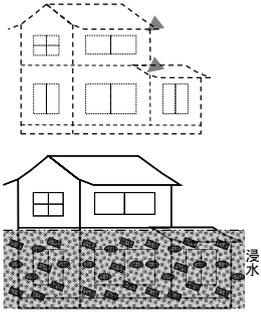
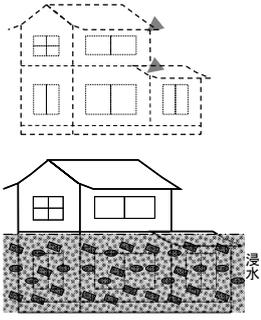
**6 区域図**

サンプル調査を行う区域の図面を添付。図面ではすべての住家の住棟の形と地形が明確であること  
 サンプル調査を行った四隅の住家について、それぞれA,B,C,Dのマークを施し、「その2」の調査票で調査結果を記載すること。

<b>判定</b>	区域内のすべての住家について	<b>50%以上</b>
		<input type="checkbox"/> 全壊

<b>住家被害認定 調査票</b> <b>水害</b> 木造・プレハブ 東日本大震災級の 災害における サンプル調査その2	調査票 番号		<b>東日本大震災級の災害におけるサンプル調査</b>	

**7 サンプル調査結果**

<b>A</b> 	<b>住家流失</b>  <b>又は</b>  <b>1階天井まで浸水</b> <small>(浸水深の最も浅い部分で測定)</small>	住家の損害割合 <b>50%以上</b>	<b>全壊</b>	<input type="checkbox"/>
	上記に該当しない(一階天井まで浸水していない)			
<b>B</b> 	<b>住家流失</b>  <b>又は</b>  <b>1階天井まで浸水</b> <small>(浸水深の最も浅い部分で測定)</small>	住家の損害割合 <b>50%以上</b>	<b>全壊</b>	<input type="checkbox"/>
	上記に該当しない(一階天井まで浸水していない)			
<b>C</b> 	<b>住家流失</b>  <b>又は</b>  <b>1階天井まで浸水</b> <small>(浸水深の最も浅い部分で測定)</small>	住家の損害割合 <b>50%以上</b>	<b>全壊</b>	<input type="checkbox"/>
	上記に該当しない(一階天井まで浸水していない)			
<b>D</b> 	<b>住家流失</b>  <b>又は</b>  <b>1階天井まで浸水</b> <small>(浸水深の最も浅い部分で測定)</small>	住家の損害割合 <b>50%以上</b>	<b>全壊</b>	<input type="checkbox"/>
	上記に該当しない(一階天井まで浸水していない)			

<b>住家被害認定調査票</b> <b>水害</b> <b>木造・プレハブ</b> <b>第2次その1</b>		調査票番号  	<b>配置状況</b>	■判定した住家の範囲が分かるように記載
調査日	平成 年 月 日			
1 調査時	: ~ :			
調査員				
所在地				
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)			

4 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 又は 住家の一部の階が全部倒壊				該当	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)		
5 傾斜	測定箇所	(1)	(2)	(3)	(4)		平均値	6cm以上 (下げ振り)
	水平距離 (cm)						<下げ振り120cmの場合であることを追記>	
6 外力損傷	無し . 有り				有り	「8躯体」へ		
7 浸水深	床上 . 床下				床下	<input type="checkbox"/> 判定へ (半壊に至らない)		
8 躯体	<input type="checkbox"/> 基礎又は柱(又は耐力壁)の外力等による損傷率が75%以上である				損傷率 75%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)		
9 基礎	外力等	0%	~10%	~20%	~40%	~60%	~74%	計
	汚泥	0	1	2	4	6	7	
	汚泥	0		1 (□床下に汚泥が堆積している。)				
								「10」以降へ

**【損害割合算出表】**

(注)h列は、傾斜が2cm以上の場合のみ記入する。

部位	構成比	階別部位別損害割合		部位別損害割合	階別重み付け		重み付き損害割合	h (□傾斜が2cm以上)傾斜を考慮した損害割合 あ>い→d あ≦い→g
		主要階	その他階		主要階	その他階		
		B※	C※	b+c	b×1.25	c×0.5	e+f (e+f>a→a)	
11 外壁	10							
12 内壁	15							
13 床 (階段含)	10							
9 基礎	10	「9.基礎」の損害割合						
14 柱(又は耐力壁)	15			13%以上で全壊				
15 屋根	15							
16 天井	5							
17 建具	10							
18 設備	10							

※ B及びCは、調査票「その2」のB及びCの値とする。

計	あ	い	う
		「あ」又は「い」(傾斜が2cm以上の場合は、「あ」、「い」又は「う」)の中で最大の値	15%

判定	損害割合				
	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上	
	□ 半壊に至らない	□ 半壊	□ 大規模半壊	□ 全壊	

住家被害認定  
調査票  
水害  
木造・プレハブ  
第2次その2

調査票  
番号

<順序入れ替え>

		主要階	その他階	計
10	面積率 床	(1)	(2)	1.0
	屋根	(3)	(4)	1.0

		主要階						計	
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	
11	外壁	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
12	内壁	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
13	床 (階段舎)	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	15%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
14	柱 (又は耐力壁)	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
15	屋根	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(3)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
16	天井	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1	
		程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	
	5%	程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	B
		程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	
		程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5	
17	建具	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	

		その他階						計	
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	
11	外壁	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	C
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
12	内壁	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	C
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
13	床 (階段舎)	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	15%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	C
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
14	柱 (又は耐力壁)	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	C
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
15	屋根	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(4)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	C
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
16	天井	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1	
		程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	
	5%	程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	C
		程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	
		程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5	
17	建具	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	C
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	

		階	損傷の状況	主要階/その他階	損傷の状況	%	計
18	設備 10%	浴室 (3%以内)	主要階・ その他階 1%. 配管のズレ等 2%. バスタブの割れ等 3%. 再使用が不可能	その他 (左記以外の 水回り、 ベランダ等 4%以内)			B
	10%	台所 (3%以内)	主要階・ その他階 1%. 配管のズレ等 2%. 再使用は可能だが大きく破損 3%. 再使用が不可能				C

<b>住家被害認定調査票</b> <b>水害</b> <b>非木造</b>		調査票番号	<b>3 配置状況</b>	■判定した住家の範囲が分かるように記載	
調査日	平成	年		月	日
1 調査時	: ~ :				
調査員					
所在地					
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)				

4 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊	該当 → <input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)	6 浸水深	床下 ・ 床上	<input type="checkbox"/> 判定へ(半壊に至らない)
5 傾斜	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	4m以上(下げ振り120cmの場合) 2cm以上4cm未満(下げ振り120cmの場合)又は外観に外力による損傷あり	7 構造の確認	<input type="checkbox"/> 鉄骨造の場合 柱(本数で判定) ↓柱が見えない場合 耐力壁(ブレース数で判定) ↓耐力壁が見えない場合 外部仕上げ(面積で判定)	<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリートの場合 ・ラーメン構造の場合 柱(本数で判定) ・壁式構造の場合 耐力壁(面積で判定)

面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
8 外部仕上・雑壁・屋根	0	0	0	0	0	0	
I	0	0	0	1	1	1	
II	0	1	1	2	2	3	
III	1	1	2	3	4	5	
IV	1	2	3	5	6	8	
V	1	2	4	6	8	10	
10%							

面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
9 内部仕上・天井	0	0	0	0	0	0	
I	0	0	0	1	1	1	
II	0	1	1	2	2	3	
III	1	1	2	3	4	5	
IV	1	2	3	5	6	8	
V	1	2	4	6	8	10	
10%							

面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	床計
10 床・梁	0	0	0	0	0	0	
I	0	0	0	1	1	1	
II	0	1	1	2	2	3	
III	1	1	2	3	4	5	
IV	1	2	3	5	6	8	
V	1	2	4	6	8	10	
10%							

面積・本数率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
11 柱(又は耐力壁)	0	0	0	0	0	0	※38%以上で全壊
I	1	1	2	3	4	5	
II	1	3	5	8	10	13	
III	3	5	10	15	20	25	
IV	4	8	15	23	30	38	
V	5	10	20	30	40	50	
50%							

枚数率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
13 建具	0	0	0	0	0	0	
I	0	0	0	0	0	1	
II	0	0	1	1	1	1	
III	0	1	1	2	2	3	
IV	0	1	2	2	3	4	
V	1	1	2	3	4	5	
5%							

設備等住家内	設備	損傷の状況	損害割合	計
10%	浴室	1% 配管のズレ等	2% バスタブの割れ等	3% 再使用が不可能
	台所	1% 配管のズレ等	2% 再使用は可能だが大きく破損	3% 再使用が不可能
	その他	4%		

【損害割合算出表】	5傾斜	8外部仕上・雑壁・屋根	9内部仕上・天井	10床・梁 ※大きい方	11柱 (又は耐力壁)	12設備等 (住家内)	13建具	14設備等 (住家外)	計
傾斜無									あ
傾斜有	20								い

(注)「4傾斜」の平均値が2cm未満の場合「あ」を、2cm以上の場合「あ」又は「い」のうち大きい値を損害割合とする。

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

<b>住家被害認定調査票</b> <b>風害</b> <b>木造・プレハブ</b> <b>その1</b>		調査票番号	■判定した住家の範囲が分かるように記載				
調査日	平成	年	月	日	3 配置状況		
1 調査時	:	~	:				
調査員							
所在地							
世帯主							
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)						
4 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 又は 住家の一部の階が全部倒壊					該当 → <input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)	
5 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	
	水平距離(cm)						
<下げ振り120cmの場合であることを追記>						6cm以上 (下げ振り120cmの場合) → <input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)	
6 屋根等	<input type="checkbox"/> 屋根等に脱落、破損等の損傷が生じておらず、住家内への浸水のおそれがない					該当 → <input type="checkbox"/> 判定へ(半壊に至らない)	
7 躯体	<input type="checkbox"/> 基礎又は柱(又は耐力壁)の損傷率が75%以上である					損傷率 75%以上 → <input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)	
8 基礎	損傷率	0%	~10%	~20%	~40%	~60%	~74%
	損害割合	0	1	2	4	6	7
「9」以降へ →							

【損害割合算出表】

(注)h列は、傾斜が2cm以上の場合のみ記入する。

部位	構成比	階別部位別損害割合		部位別損害割合	階別重み付け		重み付き損害割合	h (□傾斜が2cm以上傾斜を考慮した損害割合 あ>い→d あ≤い→g)
		主要階	その他階		主要階	その他階		
		B※	C※	b+c	b×1.25	c×0.5	e+f (e+f>a→a)	
10 外壁	10							
11 内壁	15							
12 床 (階段含)	10							
8 基礎	10	「8.基礎」の損害割合 →						
13 柱(又は耐力壁)	15			13%以上で全壊				
14 屋根	15							
15 天井	5							
16 建具	10							
17 設備	10							
		※ B及びCは、調査票「その2」のB及びCの値とする。						15%
		計		あ	「あ」又は「い」(傾斜が2cm以上の場合は、「あ」、「い」又は「う」)の中で最大の値		い	う

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
		□ 半壊に至らない	□ 半壊	□ 大規模半壊	□ 全壊

住家被害認定 調査票	調査票 番号
	風害 木造・プレハブ

		主要階	その他階	計
9	床	(1)	(2)	1.0
	屋根	(3)	(4)	1.0

		主要階						計	
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
10	外壁	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
14	内壁	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	

		その他階						計	
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
10	外壁	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	C
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
14	内壁	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	C
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
16	床(階段含)	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	C
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
12	柱(又は耐力壁)	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
11	屋根	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(3)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
	15%	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
13	天井	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1	
		程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	
	5%	程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	B
		程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	
		程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5	
15	建具	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
	10%	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	

		階	損傷の状況	主要階/その他階	損傷の状況	%	計
17	設備	浴室 (3%以内)	1%. 配管のズレ等 2%. バスタブの割れ等 3%. 再使用が不可能	主要階	その他 (左記以外の水回り、 ペランダ等 4%以内)		B
	10%	台所 (3%以内)	1%. 配管のズレ等 2%. 再使用は可能だが大きく破損 3%. 再使用が不可能	主要階			C

住家被害認定 調査票 風害 非木造		調査票 番号	3 配置 状況	■判定した住家の範囲が分かるように記載		
調査日	平成	年			月	日
1 調査時	: ~ :					
調査員						
所在地						
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)					

4 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊	該当	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
5 傾斜	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺	4cm以上 (下げ振り120cm の場合)	2cm以上4cm未満(下 げ振り120cmの場合) 又は外観に外力によ る損傷あり
6 外観	<input type="checkbox"/> 外部仕上等の損傷 <input type="checkbox"/> 外部仕上げ等に脱落・破損等の損傷 が生じ、住家内への浸水の恐れがある。	該当なし	<input type="checkbox"/> 判定へ (半壊に至らない)
7 構造の確認	<input type="checkbox"/> 鉄骨造の場合 柱(本数で判定) ▼柱が見えない場合 耐力壁(ブレース数で判定) ▼耐力壁が見えない場合 外部仕上げ(面積で判定)		<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリートの場合 ・ラーメン構造の場合 柱(本数で判定) ・壁式構造の場合 耐力壁(面積で判定)

面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
8 無被害	0	0	0	0	0	0	
10% 外部仕上等・雑壁・屋根	I	0	0	0	1	1	1
	II	0	1	1	2	2	3
	III	1	1	2	3	4	5
	IV	1	2	3	5	6	8
	V	1	2	4	6	8	10

面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
9 無被害	0	0	0	0	0	0	
10% 内部仕上等・天井	I	0	0	0	1	1	1
	II	0	1	1	2	2	3
	III	1	1	2	3	4	5
	IV	1	2	3	5	6	8
	V	1	2	4	6	8	10

面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	床計
10 無被害	0	0	0	0	0	0	
10% 床・梁	I	0	0	0	1	1	1
	II	0	1	1	2	2	3
	III	1	1	2	3	4	5
	IV	1	2	3	5	6	8
	V	1	2	4	6	8	10

面積・本数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
11 無被害	0	0	0	0	0	0	※38%以上 で全壊
柱(又は耐力壁)	I	1	1	2	3	4	5
	II	1	3	5	8	10	13
	III	3	5	10	15	20	25
	IV	4	8	15	23	30	38
	V	5	10	20	30	40	50

枚数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
13 無被害	0	0	0	0	0	0	
5% 13 建具	I	0	0	0	0	1	
	II	0	0	1	1	1	1
	III	0	1	1	2	2	3
	IV	0	1	2	2	3	4
	V	1	1	2	3	4	5

12 設備等(住家内)	設備	損傷の状況	損害割合	計	
10%	浴室	1% 配管のズレ等	2% バスタブの割れ等	3% 再使用が不可能	
	台所	1% 配管のズレ等	2% 再使用が可能だが大きく破損	3% 再使用が不可能	
	その他	4%			

【損害割合算出表】	5傾斜	8外部仕上等・雑壁・屋根	9内部仕上等・天井	10床・梁 ※大きい方	11柱 (又は耐力壁)	12設備等 (住家内)	13建具	14設備等 (住家外)	計
傾斜無									あ
傾斜有	20								い

(注)「4傾斜」の平均値が2cm未満の場合「あ」を、2cm以上の場合「あ」又は「い」のうち大きい値を損害割合とする。

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

<b>住家被害認定 調査票</b> <b>地震 木造・プレハブ 第1次</b>	調査票 番号		<b>地盤の液状化等により損傷した住家の被害認定</b>

<b>地盤</b>	<input type="checkbox"/> 床上1mまで地盤面下に潜り込み	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
	<input type="checkbox"/> 床上まで地盤面下に潜り込み	損害割合 40%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (大規模半壊)
	<input type="checkbox"/> 基礎の天端下25cmまで潜り込み	50%未満 損害割合 20%以上 40%未満	<input type="checkbox"/> 判定へ (半壊)

不同沈下がある場合の傾斜の判定

「6.傾斜」の平均値を転記

平均 値	
---------	--

<b>不同沈下のある傾斜</b>	<input type="checkbox"/> 6cm以上(下げ振り120cmの場合)	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
	<input type="checkbox"/> 2cm以上6cm未満(下げ振り120cmの場合)	損害割合 40%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (大規模半壊)
	<input type="checkbox"/> 1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合)	50%未満 損害割合 20%以上 40%未満	<input type="checkbox"/> 判定へ (半壊)

(備考)

【判定表】

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
			<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊

<b>住家被害認定 調査票</b> <b>地震</b> <b>木造・プレハブ</b> <b>第2次</b>	調査票 番 号	<b>地盤の液状化等により損傷した住家の被害認定</b>	
		(Blank space for identification)	

<b>地盤</b>	<input type="checkbox"/> 床上1mまで地盤面下に潜り込み	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
	<input type="checkbox"/> 床上まで地盤面下に潜り込み		【計算方法早見表】へ
	<input type="checkbox"/> 基礎の天端下25cmまで潜り込み		【計算方法早見表】へ
	<input type="checkbox"/> 潜り込みは基礎の天端下25cm未満		【計算方法早見表】へ
<b>不同沈下のある傾斜</b>	<input type="checkbox"/> 6cm以上(下げ振り120cmの場合)	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
	<input type="checkbox"/> 2cm以上6cm未満(下げ振り120cmの場合)		【計算方法早見表】へ
	<input type="checkbox"/> 1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合)		【計算方法早見表】へ
	<input type="checkbox"/> 1.2cm未満(下げ振り120cmの場合)		【計算方法早見表】へ

【計算方法早見表】

		地盤(潜り込み)		
		床上まで	基礎の天端下25cmまで	基礎の天端下25cm未満
傾斜	(下げ振り120cmの場合)			
	2cm以上6cm未満	【損害割合算出表】①へ	【損害割合算出表】④へ	【損害割合算出表】⑦へ
	1.2cm以上2cm未満	【損害割合算出表】②へ	【損害割合算出表】⑤へ	【損害割合算出表】⑧へ
	1.2cm未満	【損害割合算出表】③へ	【損害割合算出表】⑥へ	通常の【損害割合算出表】へ

【損害割合算出表】

		ク×25		ク×35	ク×10		⑥	⑦	⑧
1階の床面積(カ)									
住家の延べ床面積(キ)									
カ/キ									
1階の床面積割合(ク)									
9	外壁	10							
13	内壁	15							
15	床(階段含)	10	10		10			10	
5	基礎	10	10		10	10		35	
11	柱(又は耐力壁)	15	25	13%以上で全壊	25	13%以上で全壊	13%以上で全壊	25	13%以上で全壊
10	屋根	15							
12	天井	5							
14	建具	10							
16	設備	10							
	計								

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
			<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊

<b>住家被害認定 調査票</b> <b>地震 非木造 第1次</b>	調査票 番号		<b>地盤の液状化等により損傷した住家の被害認定</b>

<b>地盤</b>	<input type="checkbox"/> 床上1mまで地盤面下に潜り込み	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
	<input type="checkbox"/> 床上まで地盤面下に潜り込み	損害割合 40%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (大規模半壊)
	<input type="checkbox"/> 基礎の天端下25cmまで潜り込み	50%未満 損害割合 20%以上 40%未満	<input type="checkbox"/> 判定へ (半壊)

不同沈下がある場合の傾斜の判定

「6.傾斜」の平均値を転記

平均 値	
---------	--

<b>不同沈下 のある傾斜</b>	<input type="checkbox"/> 6cm以上(下げ振り120cmの場合)	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
	<input type="checkbox"/> 2cm以上6cm未満(下げ振り120cmの場合)	損害割合 40%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (大規模半壊)
	<input type="checkbox"/> 1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合)	50%未満 損害割合 20%以上 40%未満	<input type="checkbox"/> 判定へ (半壊)

(備考)

【判定表】

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
			<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊

<b>住家被害認定調査票</b> <b>地震非木造第2次</b>	調査票番号		<b>地盤の液状化等により損傷した住家の被害認定</b>

<b>地盤</b>	<input type="checkbox"/> 床上1mまで地盤面下に潜り込み	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
	<input type="checkbox"/> 床上まで地盤面下に潜り込み		【計算方法早見表】へ
	<input type="checkbox"/> 基礎の天端下25cmまで潜り込み		【計算方法早見表】へ
	<input type="checkbox"/> 潜り込みは基礎の天端下25cm未満		【計算方法早見表】へ
<b>不同沈下のある傾斜</b>	<input type="checkbox"/> 6cm以上(下げ振り120cmの場合)	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
	<input type="checkbox"/> 2cm以上6cm未満(下げ振り120cmの場合)		【計算方法早見表】へ
	<input type="checkbox"/> 1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合)		【計算方法早見表】へ
	<input type="checkbox"/> 1.2cm未満(下げ振り120cmの場合)		【計算方法早見表】へ

【計算方法早見表】

		地盤(潜り込み)		
(下げ振り120cmの場合)		床上まで	基礎の天端下25cmまで	基礎の天端下25cm未満
傾斜	2cm以上6cm未満	【損害割合算出表】①へ	【損害割合算出表】④へ	【損害割合算出表】⑦へ
	1.2cm以上2cm未満	【損害割合算出表】②へ	【損害割合算出表】⑤へ	【損害割合算出表】⑧へ
	1.2cm未満	【損害割合算出表】③へ	【損害割合算出表】⑥へ	通常の【損害割合算出表】へ

【損害割合算出表】

						⑥	⑦	⑧
1階の床面積(カ)								
1棟の延べ床面積(キ)								
カ/キ 1階の床面積割合(ク)								
		ク×20	ク×20	ク×30		ク×10		
8	外部仕上・雑壁・屋根	10						
9	内部仕上・天井	10						
10	床・梁	10	不同沈下がある場合 10		不同沈下がある場合 10		不同沈下がある場合 10	
11	柱(又は耐力壁)	50	不同沈下がない場合 25	算出した損傷割合に+10 ※算出した損傷割合が最大50%全壊	算出した損傷割合に+10 ※算出した損傷割合が最大50%全壊	不同沈下がない場合 25	算出した損傷割合に+10 ※算出した損傷割合が最大50%全壊	算出した損傷割合に+10 ※算出した損傷割合が最大50%全壊
12	設備等(住家内)	10						
13	建具	5						
14	設備等(住家外)	5						
計								
判定	損害割合	20%未満		20%以上		40%以上		50%以上
		<input type="checkbox"/> 半壊に至らない		<input type="checkbox"/> 半壊		<input type="checkbox"/> 大規模半壊		<input type="checkbox"/> 全壊

住家被害認定  
調査票  
地震  
木造・プレハブ  
第1次

調査票  
番号

東日本大震災級の大规模災害における地震による住家被害

■判定した住家の範囲が分かるように記載

調査日 平成 年 月 日

1 調査時 : ~ :

調査員

所在地

世帯主

2 住家 住家である(居住のために使用されている)

3 配置状況

4 応急危険度判定 (危険) (要注意) (調査済) (不明) ■応急危険度判定に記載されているコメントを転記

5 外観 住家全部が倒壊  
住家の一部の階が全部倒壊  
基礎のいずれかの辺が全部破壊しており、かつ破壊している基礎直下の地盤が液状化等した後、基礎の直下の地盤が流出、陥没等している場合

□判定へ (全壊)

6 傾斜	測定箇所 水平距離 (cm)	①	②	③	④	平均値	6cm以上 (下げ振り120cm の場合)	□判定へ (全壊)

7 躯体 基礎の損傷率が75%以上である (損傷長/全長×100)

損傷率 75%以上 □判定へ (全壊)

8 基礎	損害割合	無被害	1	4	7

9 壁	損害割合	無被害	15	30	45

10 屋根	損害割合	無被害	2	6	15

(備考)

【損害割合算出表】

- A 「6傾斜」の平均値が2cm以上(6cm未満)である
- B 「9壁」の損害割合が無被害である

Aに該当かつBに該当(傾斜有を計算)

上記以外

(傾斜無を計算)

傾斜無	8基礎	+ 9壁	+ 10屋根	= 計	傾斜有	6傾斜	+ 10屋根	= 計
							1 5	

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
			<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊

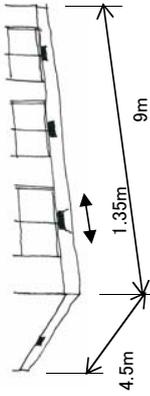
# 住家被害認定調査(地震:木造・プレハブ\_第1次B) 損害割合イメージ図

本資料では、各イメージ図において、描かれていない他の2面が、概ね同等の損傷状況である前提で、損害割合を算定している。住家の各面において損傷状況が異なる住家については、イメージ図を参考に損害割合の判定を行う際には、各面の面積を考慮して判定する必要がある。

## <基礎> 構成比10%

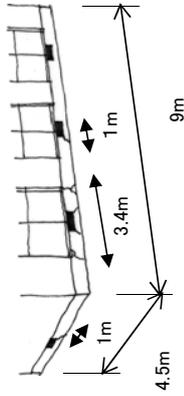
### 損害割合 1%

ごくわずかの部分にひび割れ



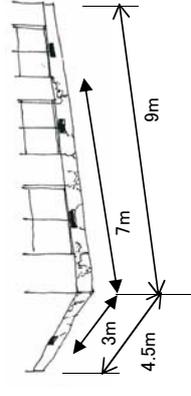
### 損害割合 4%

ひび割れが複数の個所に発生



### 損害割合 7%

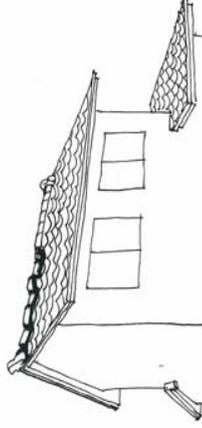
ほぼ全体的にひび割れ発生



## <屋根> 構成比15%

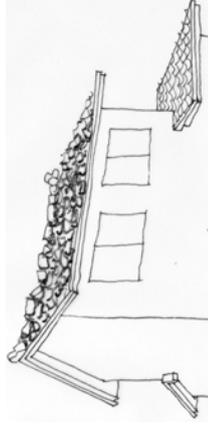
### 損害割合 2%

棟瓦のズレ、破損、落下が著しいが、その他の瓦の損傷は少ない。



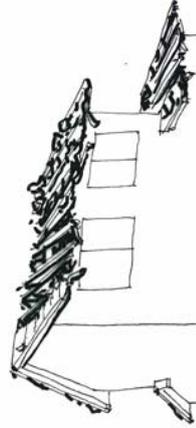
### 損害割合 6%

棟瓦が全般的にずれ、破損あるいは落下している。棟瓦以外の瓦のずれも著しい。



### 損害割合 15%

小屋組の損傷が著しく、葺材の大部分が損傷を受けている。屋根仕上面全面にわたって不陸、亀裂、剥落が見られる。



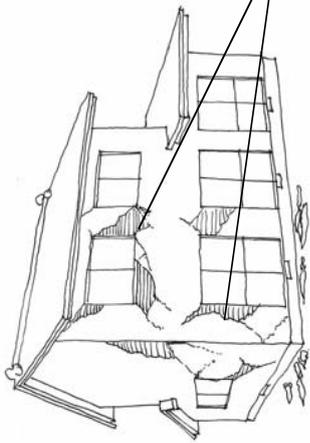
# 住家被害認定調査(地震:木造・プレハブ\_第1次B) 損害割合イメージ図

本資料では、各イメージ図において、描かれていない他の2面が、概ね同程度の損傷状況である前提で、損害割合を算定している。住家の各面において損傷状況が異なる住家については、イメージ図を参考に損害割合の判定を行う際には、各面の面積を考慮して判定する必要がある。

<壁> 構成比75%

## 損害割合 15%

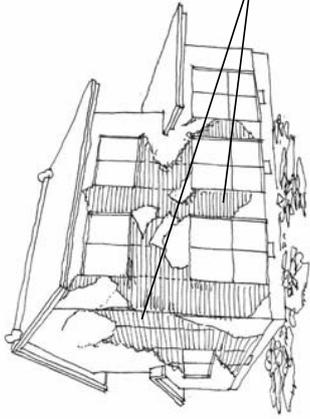
40%程度の仕上材が脱落



仕上材が脱落している。(程度Ⅲ)

## 損害割合 45%

80%程度の仕上材が脱落しており、下地材にひび割れが生じている。

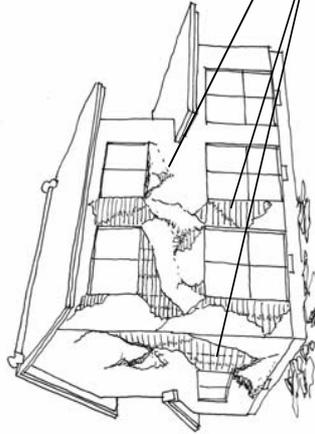


下地材にひび割れが生じている。(程度Ⅳ)

## 損害割合 30%

20%程度の仕上材が脱落

40%程度の仕上材が脱落し、下地材にひび割れが生じている。



仕上材が脱落している。(程度Ⅲ)  
下地材にひび割れが生じている。(程度Ⅳ)

**※仕上材が脱落している場合の取扱い**  
壁の仕上材が脱落している場合、下地材の損傷状況により、当該部分の損傷程度が以下のとおり異なることに留意して下さい。  
損傷なし ⇒ 程度Ⅲ(50%)  
ひび割れあり ⇒ 程度Ⅳ(75%)

\* 損傷面積の考え方

